

< 5年生 >

5年1組

「銀のしょく台」



司教がジャンの過ちを広い心で許し、正直な人間になるための機会を与える姿から「許すことの難しさや尊さ」について考えました。

「過ちを許すことは難しいことだが、これからは広い心をもって相手と接していきたい」という思いをもちました。

5年2組

「銀のしょく台」



司教がジャンの過ちを広い心で許し、正直な人間になるための機会を与える姿から「許すことの難しさや尊さ」について考えました。

これまでの経験を振り返り、「誰にでも間違いはある。許すことは難しいが相手のことを考えて接していきたい」とまとめていました。

5年3組

「銀のしょく台」



司教がジャンの過ちを広い心で許し、正直な人間になるための機会を与える姿から「許すことの難しさや尊さ」について考えました。

「許すことは難しいことだが、これからは広い心で友達に接していきたい」とこれからの自分について考え、思いをまとめていました。

< 6年生 >

6年1組

「命を見つめて」



生きる希望を失わずに病氣と闘い、生きることの大切さを訴え続けた猿渡瞳さんの実話を通して、「命の大切さ」について考えました。

「自分の命は多くの人に支えられている。自分も周りの人を支えながら、今をしっかりと生きていきたい」という思いをもちました。

6年2組

「命を見つめて」



11歳でがんになり、13歳で亡くなった猿渡瞳さんの生き方を通して、「命の大切さ」や「本当の幸せ」について考えました。

「当たり前の日常を当たり前前に過ごせることが本当の幸せ」と、自分の考えをまとめることができました。

6年3組

「命を見つめて」



若くして亡くなった猿渡瞳さんの生き方を通して、命の有り難さや命が多くの人に支えられていることについて考えました。

「自分も命がある限り、いろいろなことにチャレンジしていきたい」と、今後の生活で実践しようとする意欲が高まりました。